

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 令和7年 11月18日

P T A名		静岡県立吉田特別支援学校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	190人				

1. 使用状況

寄贈物品名	屋外複合遊具
使用学年及び人数	小学部1～6年 74人
使用頻度	毎日
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年生の生活単元学習、自立活動の時間に行う身体全体を使った粗大運動の遊びで活用している。 ・1～6年生の学級活動、休み時間に活用している。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドに魅力的な遊具があることで、気候が良い時期には外へ出て遊ぶことが増えた。 ・何度も繰り返し階段やネット等を上り、滑り台や滑り棒で降りる遊びを楽しみながら、体力の向上につながっている。 ・ネット、滑り棒は日常生活の中であまりない動きのため、新たな動きを獲得した児童が多い。 ・学校の中での好きな場所の一つとなり、心が乱れたときに落ち着ける場所になっている児童がいる。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も続けて使用し、基本的な動きの習得や体力の向上につなげたい。 ・今年度は、近隣の保育園が訪れて遊具で遊ぶことがあった。遊具やその周りで、本校児童もみんな楽しく遊びながら自然に交流ができる場としても活用できると良い。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に自然に体を動かすことができる屋外遊具の良さを感じる。設置から1年半がたったが、子どもたちの学校生活になくってはならない場所となっている。

2. 活用の様子



1学期は教師の支えが必要でしたが、2学期になり、一人で足元を確かめながら登ることができるようになりました。



滑り棒のちょっとしたスリルが気に入ったようです。一人で滑り降りることができるようになり、この日は10回以上繰り返していました。



遊具の下のスペースが落ち着ける場所の一つとなっています。友達の動きを見て、楽しんでいます。



滑る順番を待つ、いよいよ滑る場面です。思わず笑顔がこぼれます。



友達の様子を見て、挑戦してみようという気持ちも育っています。